

やまがた

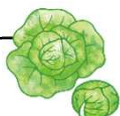
元氣

農の風

NO.15

株式会社エヌシップ
代表取締役 長倉 直人さん年間栽培スケジュールを作成し農作業を見える化
記憶より記録で生産性向上

金山町



経営のきっかけ・こだわり・思いをお聞かせください。

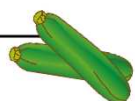
就農前は、仙台市の会計事務所に勤務していましたが、親が農業をしていたこともありUターン就農しました。

当初は、3aの小さな農地を親から引き継ぎ一人で農業を始めましたが、就農3年目に会社を設立し、社員を雇い面積を広げ、現在では、社員10名、臨時職員11名、作付け面積15haでキャベツやニンジン等の野菜を栽培するに至りました。

当社では、記憶や経験だけに頼ることなく、これまで10年間の農作業で培ってきた栽培データを基に出荷日から逆算した年間の栽培スケジュールを作成し、播種から収穫までを行っています。そのことにより、残業を極力行わずに効率的な生産につながりました。



長倉代表は、ズッキーニやニンジンなどで特別栽培にも取り組んでいます。

農業の魅力について
お聞かせください。

農業は、自ら販売先を開拓することで自らが需要を作る可能性がある仕事で、自分主導で仕事が出来るということに魅力を感じています。また、ものを生み出す農業という仕事は、私の子供たちに誇れる仕事だと思っています。



雪下ニンジン

(写真提供：株式会社エヌシップ)

ズッキーニ

今後の経営、目標や夢、
将来展望をお聞かせください。

当社の現在の作付け面積は15haですが、将来的には、作付けに応じ季節的に労働力をリレーさせることに加え、昨今の天候不良、頻繁に発生する天災によるリスクも考慮し、国内5か所の拠点で80haの面積を栽培したいと考えています。なお、海外展開も視野に入れ、GFP会員に登録しています。



雪の下で野菜の甘みを十分に引き出した株式会社エヌシップの「かまくらやさい」(商標登録)

(写真提供：株式会社エヌシップ)

ホームページ<http://www.nship-group.com>

東北農政局 山形県拠点 地方参事官室

TEL:023-622-7231/FAX:023-622-7256